

匝瑳市版CCRC構想策定等事業（飯倉地区）

1 日本版CCRC（生涯活躍のまち）構想

(1) 目的

「東京圏をはじめとする地域の中高齢者が、希望に応じて地方やまちなかに移り住み、多世代の地域住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療介護を受けることができる地域づくり」を目指すもの。

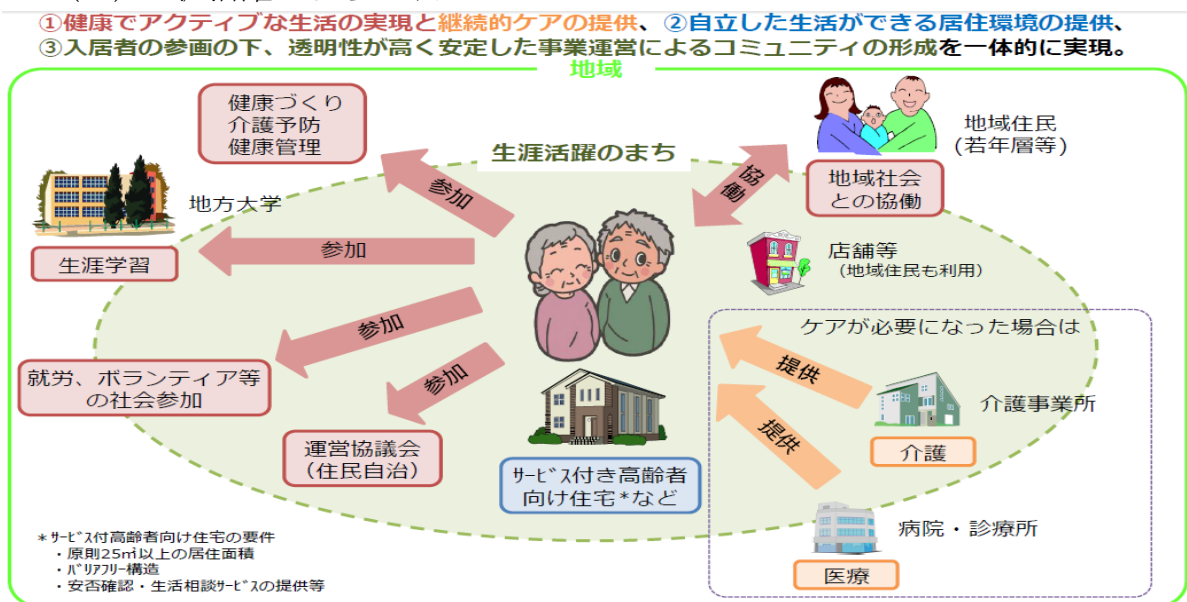
※ CCRC（Continuing Care Retirement Community）

「高齢者が健康なうちから居住し、必要に応じて介護や医療を受け、人生の最後までを過ごせる生活共同体」のこと。日本版CCRCの名称は、「生涯活躍のまち」。

(2) 基本コンセプト

- ① 東京圏をはじめ地域の中高齢者の希望に応じた地方や「まちなか」などへの移住の支援
- ② 「健康でアクティブな生活」の実現
・・・健康づくりや就業、社会的活動、生涯学習などに主体的に参加する。
- ③ 地域社会（多世代）との協働
- ④ 「継続的なケア」の確保
- ⑤ IT活用などによる効率的なサービス提供 等

(3) 生涯活躍のまちのイメージ



※事業の透明性・安定性の確保の方策：入居者の参画、情報公開、事業の継続性確保等

出典：「生涯活躍のまち」構想に関する手引き（第3版）

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部

2 匝瑛市版CCRC構想策定等事業（飯倉地区）

(1) 目的

東京圏をはじめとする市外の中高齢者が、匝瑛市に移り住み、多世代の地域住民と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるように、施設整備等の環境整備をはじめとするまちづくりを行うための計画の策定等を行う。

(2) 事業地・・・JR 総武本線「飯倉駅」隣接地



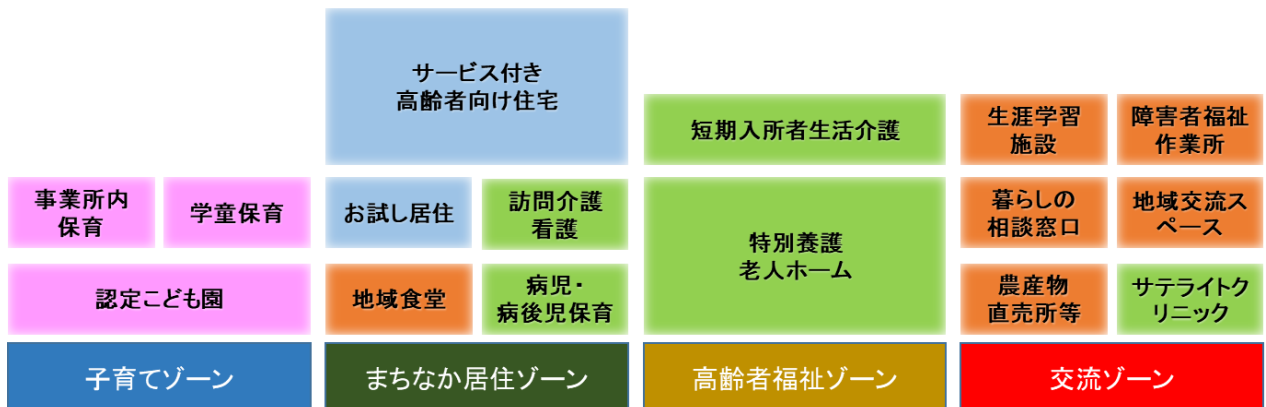
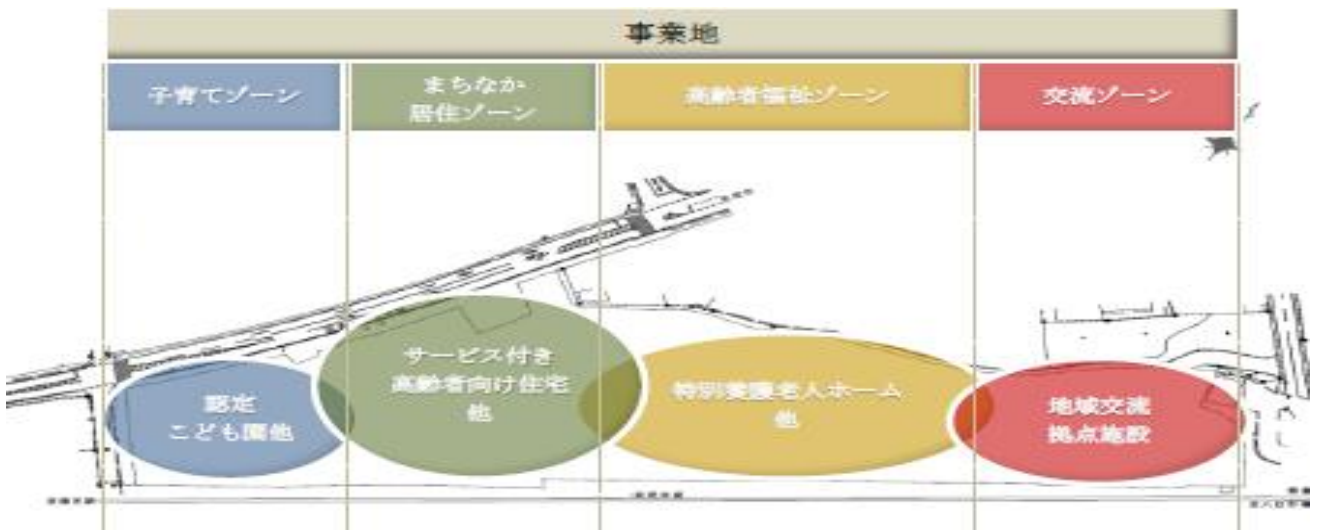
- (3) 施設整備主体
社会福祉法人九十九里ホーム

(4) 飯倉駅前地区まちづくり協議会

- ① 概要
地域の合意形成と、匝瑳市版生涯活躍のまち事業計画案（以下「事業計画案」という。）の作成等を行うために、施設整備主体である社会福祉法人九十九里ホームが設置した任意団体
- ② 構成
社会福祉法人九十九里ホーム、金融機関、地域住民、学識経験者等の委員12人で構成
- ③ 平成28年度事業（地方創生加速化交付金対象事業）概要
ア 事業計画案作成
イ 調査（住民向けアンケート調査等）
ウ 住民周知（さんさんフェスタ、区長・組長説明会等）
エ 有識者意見交換会・事例地視察 等

(5) 事業計画案の概要

- ① 計画期間 平成29年度～平成33年度（5年間）
② 事業概要 4つのゾーンと施設機能概要



③ 規模及び開設年度

- ア 認定こども園 定員120人(平成30年度)
- イ サービス付き高齢者向け住宅 50戸程度 (平成32年度)
- ウ 特別養護老人ホーム 定員100人(平成30年度)
- エ 地域交流拠点施設 (平成32年度)

(ゾーン毎の事業スケジュール案)

年度／ エリア	H28年度		H29年度		H30年度		H31年度		H32年度		～
	4～	10～	4～	10～	4～	10～	4～	10～	4～	10～	
子育て ゾーン	設計等		建築工事		運営						
まちなか 居住ゾーン	計画案作成		計画作成		設計等		建築工事		運営		
高齢者 福祉ゾーン	設計等		建築工事		運営						
交流ゾーン	計画案作成		計画作成				設計等		建築工事		運営

④ 事業費等 (現段階の概算)

- ア 事業費総額 約48億円
- イ 国県補助金総額 約8.7億円
- ウ 市負担総額 約1.3億円
(実質市負担額 約1億円)
- エ 施設整備主体負担総額 約38億円

(6) 事業地の現況

